

作るからには実効性のある計画を 高梁市総合計画基本構想

補助金も見直しの対象に 行財政改革

今議会では、新たな高梁市総合計画基本構想が議案となりました。

これまでの10年間は、「ひと・まち・自然にやさしい高梁」を都市像とした「新総合計画」、平成28年に策定した人口減少対策や地方創生に特化した「高梁市まち・ひと・しごと総合戦略」に基づいて市政運営がなされてきました。

しかし、人口減少や少子高齢化に歯止めはかかっていません。災害からの復旧復興に加え、新型コロナウイルス感染症対策、さらには「Society 5.0」「多文化共生社会」といった新たな国の方針にも対応して

来、人口減少や少子高齢化に歯止めはかかっていません。災害からの復旧復興に加え、新型コロナウイルス感染症対策、さらには「Society 5.0」「多文化共生社会」といった新たな国の方針にも対応して

いかなければならないなど課題は山積です。そのため、令和3年度からの10年間の計画期間とする新たな基本構想を策定することになりました。

次期高梁市総合計画の長期人口ビジョンでは、2045年で2万人を維持するとしていることから、人口の自然動態、社会動態の観点から質問がありました。市長からは、市民アンケート結果において、子育て環境の満足度が高いことから、これから出産からのサポートや医療費無料制度を継続し、他の施策とともにPRして行く、特に企業から市内での居住ニーズが高い

ことから、企業ニーズに込えていくとの答弁がありました。市民の施策に対する満足度や施策の重要度が、前回調査から大きく変化していないことから、市民のニーズに基づく計画では、今後のエネルギー政策の転換や新たな産業革命に対応できるのかとの質問もありました。これに対しては、基本構想を受けて策定する基本計画の中で、社会情勢の変化を取り入れていくとの答弁がありました。

平成30年に策定した「高梁市行財政改革プラン」の一端として、補助金の見直しについて報告がありました。高梁市では今まで、第一次、第二次高梁市行財政改革が取り組まれてきました。平成30年7月豪雨災害の影響で計画通りに進んでいない項目もありますが、「将来の人口減少を見据えた行財政基盤の確立」をテーマに据えて、改革に取り組んでいます。

今回報告があった補助金の見直しでは、イベントに対する補助金など6分額173件、総額約9億円規模について、

- ①事業の公益性（市の行政目的に合致する）
- ②事業の必要性（市民のニーズが高く優先的に実施する必要がある）
- ③事業の効果性（成果が認められる、また期待できる）
- ④団体等の適格性（会計処理などが適切。繰越金が市補助金を越えていない）

高梁の未来を見据える

2021年からの10年間について議会で議論を深めています

新たな防災の拠点とどうする？

高梁消防庁舎整備

平成30年西日本豪雨災害を経験した高梁市、自然災害を含めた消防活動の重要性を改めて認識したのは、記憶に新しいはず。岡山県内に14ある消防庁舎の中で一番古い（昭和46年建設）消防庁舎をどうするのか、平成24年から消防庁舎検討委員会を設置し、8回にわたる検討を行ったが候補地決定には至らなかった消防庁舎の整備について、令和2年6月の消防庁舎検討委員会にて候補地が決定し、令和2年7月高梁市議会全員協議会に報告がなされました。

消防活動の中で、初期に最も消防力が必要なのは火災であることから、火災への対応を重視し、市街地への設置が必要であり、「川端町地内に消防庁舎を整備する」との報告でした。

議論の中心となったのは、候補地の選定であり、候補地



▲現在の高梁消防署

は平成30年に内水による浸水が発生し、土砂災害警戒区域（イエローゾーン）でもあるが大丈夫なのか、市街地は雇用や定住のために利用して地備の整備な市街地以外に建設すべきではないか、市街地に整備するのであれば東分駐所を整備すべきではないか、最初から決定した候補地ありきの報告ではないかと議論が交わされました。

完成年度は令和6年度予定、議会としてもこれからの動向を注視していきます。

保育ニーズにどう応えるか

高梁認定こども園新設事業

全国的な少子化の中、高梁市でも就学前の子どもの数は減少していますが、就労を希望する保護者は増加しており、保育園のニーズは非常に高まっています。

就学前教育保育の充実のため、幼稚園・保育園の統廃合や認定こども園化を計画的に進めていくことは、市政の重要課題です。

平成27年に有漢地域・川上地域、平成31年には成羽地域で認定こども園を開設してきた高梁市。令和2年7月の全員協議会では、市街地の高梁認定こども園の整備について報告がありました。

当初の候補地は、①高梁幼稚園、②高梁保育園、③明治飼糧跡地、④高梁南幼稚園+高梁城南高校グラウンド、⑤高梁城南高校運動場の東側の5カ所でした。「議会では、新たに

土地を購入するのではなく、現在、文化センター駐車場として利用している明治飼糧跡地の活用「候補地の安全性や利便性」「財源について」「木造建築を望む」という意見など、執行部との議論が交わされました。11月の全員協議会では、保護者や地域団体の代表者、就学前施設で勤務する職員からの意見を取り入れた、比較検討結果が示されました。

避難所としての役割を担い、安全で安心できる場所、交通・駐車場の確保等が挙げられていること、市の財政状況も考慮し、安全性・利便性・用地取得・経済性・財源確保の観点と比較項目として比較検討を行った結果、「高梁城南高校運動場の東側を建設場所とした」との報告を受けました。



▲高梁保育園



高梁幼稚園▶



5 高梁市議会だより 第45号